

各常任委員会

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への

経済文教常任委員会

11月14日(月)～15日(火)

建設常任委員会

11月14日(月)～15日(火)

11月14日 岡山県倉敷市

「学校プールの集約化・共同利用に関する取り組みについて」

倉敷市では、平成30年度時点で築後30年以上経過している学校プールが65校にのぼり、老朽化が進んでいます。今後、学校プール施設の建て替え時期を迎えますが、全て建て替えることは財政的に困難であり、学校プール施設の集約化・共同利用に取り組んでいます。

委員の所見

プール施設を廃止することでプールの維持管理費の大幅な削減ができますが、学校間で授業の調整や移動時間が必要になるなどの課題もあります。本市においても、学校プールの老朽化が進んでおり、共同利用や民間プールの活用を検討が必要であると感じました。

11月15日 岡山県真庭市

「真庭バイオマス産業杜市構想」

真庭市のバイオマス事業を学ぶため、「バイオマスツアー真庭」に参加しました。市の約80%という広大な森林面積をもち、その豊富な

森林資源を有効活用したバイオマス事業が、農業、林業、工業、商業、教育、福祉など持続可能な産業として循環する取り組みを視察しました。

委員の所見

真庭市はバイオマスタウンとして、森林の有効活用から、バイオマスエネルギーの有効活用、森林保有者への還元と、まさに循環の輪を広げていく素晴らしい事業を展開していました。その取り組みをツアーとして観光にも繋げ、市の発展に貢献していると感じました。



11月14日 北海道小樽市

「小樽駅前第3ビル周辺地区第一種市街地再開発事業について」

小樽駅前の一度再開発した区画を更に再開発した事業について説明を受けました。15年余り経過した現在、これまでの小樽市になかった景観等を作り出し、小樽駅前の活性化に大きな影響を与えていることの説明を受けるとともに、現地を見て確認しました。

委員の所見

小樽市役所や議場は70年から90年経つものを使用していました。また、小樽運河をはじめ歴史的な建造物が美しく残る街並みもあり、古いものを大切に保存する感覚に感銘を受けました。この度の再々開発の事業についても大いに参考になりました。

11月15日 北海道北広島市

「駅西口周辺エリア活性化事業市有地A 個別事業計画について」

北広島駅西口周辺エリア活性化事業について説明を受けました。

駅前広場、ホテル、商業施設、バスやタクシーの発着所などが計画され、2023年に開業予定とのことでした。多くの人が集まり、新しい「北広島市の顔」の誕生が予測されます。

委員の所見

私たちの視察に対する対応に感動し、プレゼンテーションも素晴らしい、事業に携わる皆様の熱意を感じました。駅西口周辺エリア活性化事業が北海道ポールパークの開業と連携し、2023年に北広島市が大きく発展していくことを確信する視察でした。

